

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|

— 2015年度の新システム導入へ向けて…子ども・子育て会議発足、  
子ども・子育て関連3法新制度から自治体施策を構想する —

# 待機児童の解消と認定こども園制度

- 保育行政の現状と子ども・子育て支援法、認定こども園法改正の論点と課題
- 【東京・豊島区】行政サービスとしての待機児童対策の取組みと現状、課題、展望
- 【フローレンス】小規模保育所の多園展開—質の確保、人材への対応
- 【ベネッセ】全国アンケート調査にみる保育園・幼稚園の実態と認定こども園制度

2013年7月9日(火) 9:20~16:30 アルカディア市ヶ谷(私学会館)・会議室 (東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 村山 祐一 氏 / 保育学研究者・保育問題アナリスト  
前. 帝京大学教授、全国保育団体連絡会保育研究所所長
- 宮崎 真理子 氏 / 認定特定非営利活動法人フローレンス 事務局長
- 後藤 憲子 氏 / ベネッセ次世代育成研究所主任研究員
- 【参加要領】
- 活田 啓文 氏 / 東京都豊島区子ども家庭部子育て支援課長

■ 会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室  
東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL03-3261-9921 (案内図は申込後送付)

■ 参加費(1名分)

|       | 当日参加    | メディア参加  |
|-------|---------|---------|
| 行政・議員 | 22,000円 | 25,000円 |
| 一般    | 31,000円 | 34,000円 |

メディア参加申込の方へは研修会開催後にCD(講演音声収録)と資料及び請求書をお送り致します。当日参加で申込後にご都合が悪く欠席される場合にはメディア参加とさせていただきます。

■ 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767  
郵便振替:00110-8-81660 口座名: 榊地域科学研究会

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい  
(FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします  
(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送します  
ので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日  
受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える  
**地域科学研究会**

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106  
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082  
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2013年 月 日

□ 研修会『待機児童の解消と認定こども園制度』への参加

勤務先 (請求書等宛先名) \_\_\_\_\_ 連絡担当者 \_\_\_\_\_

所在地〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 所属部課役職名 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Email \_\_\_\_\_

(通信欄) ○を付けて下さい  
支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)  
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

| 時                                  | 講 義 内 容   |
|------------------------------------|---|
| <p>9:20</p> <p>↳</p> <p>10:50</p>  | <p><b>[基調講演]</b></p> <p><b>保育行政の現状と子ども・子育て関連3法新制度への制度改革の論点・課題</b></p> <p>保育学研究者・保育問題アナリスト <b>村山 祐一 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>今日の保育行政・制度改革の課題と児童福祉法</li> <li>子ども・子育て支援法と現行補助金制度の廃止、不透明な財源</li> <li>改正認定こども園法と現行幼保連携型認定こども園の改変</li> <li>待機児童解消の「3本の矢」とまちづくり</li> </ol> <p style="text-align: right;"><b>【質疑応答】</b></p> <p><b>【講師略歴】</b> 1942年生まれ。1969年法政大学大学院社会科学研究所修士課程修了、社会福祉法人加須福祉会三保保育園園長、鳥取大学教育学部教授、帝京大学文学部教授などを経て、現在、保育研究所所長、福祉法人加須福祉会理事長、日本保育学会保育政策研究委員会委員長。保育行政や児童福祉に関する著書多数。</p>  |
| <p>11:00</p> <p>↳</p> <p>12:30</p> | <p><b>小規模保育所の多園展開 — その経営と質の確保、人材への対応策</b></p> <p>認定特定非営利活動法人フローレンス 事務局長 <b>宮崎 真理子 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>フローレンスの紹介</li> <li>待機児童問題の解決策を探す (=小規模保育にした理由)</li> <li>小規模保育園の運営開始</li> </ol> <p>◎力をいれている点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピード重視</li> <li>・エリアマネージャー制度</li> <li>・保育スタッフの育成</li> </ul> <p>・おうち保育園基準づくり (日本一の小規模保育を目指して (ビジョン))</p> <p>◎現場からの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピードを落とさないために</li> <li>・質を落とさないために</li> <li>・安定的な運営のために</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【質疑応答】</b></p> <p>フローレンスは「地域密着型」病児保育事業を全国に先駆けて展開。代表理事の駒崎弘樹氏は、2012年(一財)日本病児保育協会とNPO法人全国小規模保育協議会を設立し理事長に。2013年4月より内閣府「子ども・子育て会議」委員を務めている。(フローレンスのホームページより抜粋)</p> |
| <p>13:20</p> <p>↳</p> <p>14:50</p> | <p><b>「認定子ども園制度」拡充の課題と求められる支援策</b></p> <p>～全国アンケート調査にみる保育所・幼稚園の実態から認定こども園制度を考察する～</p> <p>ベネッセ次世代育成研究所主任研究員 <b>後藤 恵子 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ベネッセの調査と今回の調査概要について</li> <li>データからみる幼稚園、保育所の変化</li> <li>認定こども園に関する調査結果</li> </ol> <p style="text-align: right;"><b>【質疑応答】</b></p> <p><b>【ベネッセ次世代育成研究所「第2回幼児教育・保育についての基本調査」】</b></p> <p>2012年10～12月、全国の認可保育所・幼稚園の園長を対象に実施。回答総数は、保育所が3,705、幼稚園が1,377、認定こども園が139。今回の調査は、保育所、幼稚園の定員充足率や非正規雇用の保育者の割合、認定こども園への移行に関する意思などを調査項目に入れ、今後検討が進む、子育て環境整備のための国・地方自治体の施策立案・実行に役立つ資料となっている。(編)ベネッセコーポレーション2013年4月17日プレスリリースより)</p>  |
| <p>15:00</p> <p>↳</p> <p>16:30</p> | <p><b>東京・豊島区における待機児童への取り組みと課題</b></p> <p>豊島区子ども家庭部子育て支援課長 <b>活田 啓文 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>待機児童の現状</li> <li>これまでの対応</li> <li>待機児童対策緊急プランの策定</li> <li>待機児童「0」に向けた課題と展望</li> </ol> <p style="text-align: right;"><b>【質疑応答】</b></p> <p>豊島区は人口約27万人、約16.3万世帯。近年3歳児の待機が急増したため、定員に空きのある私立幼稚園と連携し、夕方まで預かる園に助成するなど待機児童対策に取り組んでいる。</p>  |